

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月30日		記入者		連絡先	780-1416
平成18年度部名	経済部		課名	津久井経済課	課長名	佐藤
平成19年度部名	経済部		課名	津久井経済課	課長名	佐藤
事務事業名	農道等整備事業					
予算上の事務事業名	農道等整備事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	31530		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします					
基本施策名	第5節 都市農業の振興					
施策名	第3施策 農地の保全と農業基盤の整備					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
神奈川県土地改良事業等補助金交付要綱 農とみどりの整備事業実施要綱						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	農業振興地域整備計画（津久井町）		農業生産環境及び基盤と緑地としての保全を行うとともに、農業の担い手の育成・確保を図り、地域特性を生かした都市近郊型農業を推進する。			
計画年次	平成17年度	～	平成22年度			
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入		5 事業開始年度	平成11年度		
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					(2) 対象（誰、何）	
農業生産基盤や農村生活環境基盤等の整備を図り、生産性の向上や適正な農業生産活動を図る。 森林ミュージアム事業の構想による展開を図ることで、地域農業の活性化を推進する。					受益面積 農振農用地2ha以上	
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
県要綱の規定に基づき、農道整備を行なう。 補助率 事業費の50% 実施内容 韮尾根地区農道整備工事 工事延長=77.1m 幅員=4.0~4.7m 韮尾根地区農道整備工事測量委託 鮑子地区農道整備工事測量委託						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
県下全市町村で実施している。						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	11,790	11,800	11,800	
一般財源	0	0	6,190	5,750	5,750	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	5,600	6,050	6,050	
人件費の合計	0	0	4,025	4,025	4,025	
事業コスト合計	0	0	15,815	15,825	15,825	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	韮尾根地区農道整備工事			対象名称 と単位	工事延長 m	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	15,815	15,825	15,825	
対象数	0	0	77	53	53	
単位あたり経費(円)	0	0	205,123	298,585	298,585	
前年度比		0.00	0.00	1.46	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	整備延長 m	指標式と指標の説明	実績延長÷整備目標（予定延長）×100＝整備率（％） 農道整備の達成率を見る		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	77.1		
目標	0.0	0.0	50.0	53.0	53.0
目標達成度（％）	0.0	0.0	154.2		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	年間整備目標 1箇所当り50m	指標式と指標の説明	（整備延長÷（目標延長×箇所））×100＝整備率を 上げることにより農業生産活動に貢献できる。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	77.1		
目標	0.0	0.0	50.0	53.0	53.0
目標達成度（％）	0.0	0.0	154.2		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[ ]	：良好な状態を維持する事業			
	[ ]	：概ね良好な状況である事業			
	[ ]	：見直しを行う必要がある事業			
	[ ]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		荒廃地を削減するために、農作業の機械化の推進を図る中で、農道を整備する必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
整備後の農道の活用により農業の機械化を推進し、効率的な農作業の確保を図る。 また、今後の整備をより事業効率化を上げることができ、箇所を選定していくことで、事業効果は図れる。			農作業効率の向上を推進し農業経営の安定を図り、農業後継者の確保に努めることが重要である。 また、森林ミュージアム事業構想との連携を図りながら進める必要がある。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			